



室谷地区の常浪川と星空。今年の夏は天の川とともに木星と土星が見えていて、とてもにぎやかだ

# 見上げれば、天の川

常浪川（阿賀・上川）

阿賀野川の支流、常浪川。旧上川村（阿賀町）の集落の多くが、この川に沿って点在する。

私が初めて訪れたのは30年以上前のこと。サイクリングで林道を

福島県境まで上った。それ以来、常浪川と上流に広がる雄大な原生林の風景に魅かれ、サイクリングや写真撮影で何度も訪れた。

特に魅力的だったのは星空。川の上流へ行けば行くほど市街地の明かりが届かなくなり、まぶしいくらいの星の輝きに出合えるのだ。

7月初旬、梅雨の晴れ間を狙って夜中に常浪川を目指した。最も上流の室谷集落から川沿いの旧道に下りる。残念ながら、夜空はず

つきりしない薄曇り。だが真っ暗なこの夜空は薄雲を突き通して星の光が届き、なんと天の川まで見えてしまう。岩で覆われた川底の上を水がゴゴゴと音を立てて流れてゆき、見上げれば天の川を挟んで右に木星、左に土星が目

につくくらい輝いていた。

新潟市内から高速道路を使えば

1時間ちょっと。常浪川にはいつも最高の星空が待っていてくれる。梅雨が明けたら、透明度の高い夜空でもう一度撮影したいと思った。

大地を潤し、生命を育む川。川に沿って人が集まり、村ができ、町ができた。流域には長く続いてきた暮らしがある。川を訪ね、そこで生きる人たちと、水辺の風景

に会いに行く旅を始めたい。



本日の案内人

渡部 佳則

(写真家)



